

(証券コード 9385) ショーエイコーポレーション

2022年3月期 第3四半期

決算発表補足資料

2022年2月14日

目次

収益認識に関する会計基準等の適用について	P. 3
株式会社ファインケメティックスの子会社化について	P. 4
2022年3月期 第3四半期の業績	P. 5
2022年 3 月期連結業績予想の修正	P. 17
今後の取り組み	P.22

収益認識に関する会計基準等の適用について

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は、代理人取引に係る収益認識であります。顧客への財又はサービスの提供における当社の役割が代理人に該当する取引については、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、顧客から受け取る額から仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識する方法に変更しております。

当第3四半期連結累計期間の影響は以下のとおりであります。

- ・売上高は 752百万円減少
- ・売上原価は 749百万円減少
- ・営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は個々 2百万円減少

以下、参考として同基準を適用しなかった場合の数値を併記し、比較しております。

株式会社ファインケメティックスの子会社化について

当社グループはさる2021年8月26日付で株式会社ファインケメティックス(以下、「ファインケメティックス社」という。)の株式を取得し、子会社化いたしました。

同社を子会社化した理由は、以下のとおりであります。

当社グループは現在、化粧品及び医薬部外品のOEM事業への事業展開を進めており、理美容消耗品関連商材の販売(理美容事業)等を展開しているジェイ・エスコムホールディングス株式会社(以下、「JEHD社」という。)との業務提携を進めるにおいて、同社の関連会社であるファインケメティックス社を買収するに至りました。

ファインケメティックス社は創業64年の実績を持つ、化粧品・医薬部外品のOEM製造会社であり、高品質で高価格な製品をヘアサロン向けに製造販売するなどプロマーケット向けの商品開発、製造では定評のある会社であります。

今回の子会社化によって、ファインケメティックス社の持つ研究開発能力、品質管理能力、生産能力、そして同社の持つネットワーク力がグループに加味され、化粧品及び医薬部外品のOEM事業の展開が強固になり、当社グループのメーカーへの転身の実現スピードが増し、更なる企業価値の向上が実現できると判断した次第であります。

ファインケメティックス社の決算については、当3QよりBS、PLとも連結決算となっております。

2022年3月期第3四半期の業績



2022年3月期 第3四半期(連結)

前期比	2022年3月期 第3四半期実績						2021年3月期 第3四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	不適用の場合 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	14,333	100.0	92.6	15,085	100.0	97.4	15,486	100.0
売上原価	11,293	78.8	93.6	12,042	79.8	99.8	12,061	77.9
売上総利益	3,040	21.2	88.8	3,043	20.2	88.9	3,424	22.1
販売管理費	2,681	18.7	111.2	2,681	17.8	111.2	2,410	15.6
営業利益	359	2.5	35.4	361	2.4	35.7	1,014	6.5
経常利益	343	2.4	34.7	346	2.3	35.0	989	6.4
親会社株主に 帰属する当期純利益	218	1.5	32.7	220	1.5	33.1	666	4.3
1株当たり 当期純利益金額(円)	28.24	-	-	28.58	-	-	104.48	-

- ・ 3Qで売上高は堅調に推移してきたが、原材料価格の高騰、為替動向による円安傾向によって売上原価率が悪化してきている。
- ・ 販管費・営業外費用として1Qに不適切取引及びM&Aに関わる費用を計上している。

対前期 四半期推移(会計期間推移含む)

◎ 2022年3月期

	1Q		2Q		3Q	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	4,624	100.0	9,215	100.0	14,334	100.0
売上原価	3,583	77.5	7,217	78.3	11,293	78.8
売上総利益	1,041	22.5	1,998	21.7	3,041	21.2
販管費	910	19.7	1,724	18.7	2,681	18.7
営業利益	131	2.8	274	3.0	359	2.5
営業外収益	16	0.3	38	0.4	90	0.6
営業外費用	101	2.2	99	1.1	106	0.7
経常利益	45	1.0	213	2.3	344	2.4
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
特別損失	0	0.0	3	0.0	3	0.0
税前当期純利益	45	1.0	211	2.3	341	2.4
税金費用	21	0.4	69	0.7	121	0.8
当期純利益	25	0.5	142	1.5	220	1.5
非支配株主当期純利益	0	0.0	0	0.0	▲ 1	-0.0
親会社株主当期純利益	25	0.5	142	1.5	218	1.5

◎ 2021年3月期(収益認識基準に沿った数値に入れ替えた場合)

	1Q		2Q		3Q	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	4,904	100.0	10,184	100.0	14,687	100.0
売上原価	3,874	79.0	8,001	78.6	11,262	76.7
売上総利益	1,030	21.0	2,182	21.4	3,425	23.3
販管費	769	15.7	1,561	15.3	2,411	16.4
営業利益	261	5.3	621	6.1	1,014	6.9
営業外収益	27	0.5	23	0.2	36	0.2
営業外費用	19	0.4	39	0.4	61	0.4
経常利益	268	5.5	605	5.9	990	6.7
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
特別損失	0	0.0	1	0.0	1	0.0
税前当期純利益	268	5.5	604	5.9	989	6.7
税金費用	89	1.8	190	1.9	322	2.2
当期純利益	179	3.7	415	4.1	667	4.5
非支配株主当期純利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
親会社株主当期純利益	179	0.0	415	4.1	667	4.5



	1Q会計期間		2Q会計期間		3Q会計期間	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	4,624	100.0	4,591	100.0	5,119	100.0
売上原価	3,583	77.5	3,633	79.1	4,077	79.6
売上総利益	1,041	22.5	958	20.9	1,042	20.4
販管費	910	19.7	814	17.7	957	18.7
営業利益	131	2.8	144	3.1	85	1.7
営業外収益	16	0.3	22	0.5	53	1.0
営業外費用	101	2.2	▲ 2	-0.0	7	0.1
経常利益	45	1.0	168	3.6	131	2.6
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
特別損失	0	0.0	3	0.1	0	0.0
税前当期純利益	45	1.0	165	3.6	130	2.5
税金費用	21	0.4	48	1.0	52	1.0
当期純利益	25	0.5	117	2.6	78	1.5
非支配株主当期純利益	0	0.0	0	0.0	▲ 1	-0.0
親会社株主当期純利益	25	0.5	117	2.5	76	1.5

	1Q会計期間		2Q会計期間		3Q会計期間	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	4,904	100.0	5,280	100.0	4,503	100.0
売上原価	3,874	79.0	4,127	78.2	3,261	72.4
売上総利益	1,030	21.0	1,153	21.8	1,242	27.6
販管費	769	15.7	792	15.0	850	18.9
営業利益	261	5.3	361	6.8	393	8.7
営業外収益	27	0.5	▲ 4	-0.1	14	0.3
営業外費用	19	0.4	20	0.4	21	0.5
経常利益	268	5.5	337	6.4	385	8.5
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
特別損失	0	0.0	1	0.0	▲ 0	-0.0
税前当期純利益	268	5.5	337	6.4	385	8.5
税金費用	89	1.8	101	1.9	133	2.9
当期純利益	179	3.7	236	4.5	252	5.6
非支配株主当期純利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
親会社株主当期純利益	179	3.7	236	4.5	252	5.6

(会計期間)

セグメント別 2022年3月期の業績 第3四半期

	2022年3月期 第3四半期実績						2021年3月期 第3四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	不適用の場合 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	14,333	100.0	92.6	15,075	100.0	97.3	15,486	100.0
営業促進支援事業	6,822	47.6	82.4	7,571	50.2	91.4	8,279	53.4
商品販売事業	7,505	52.4	104.0	7,507	49.8	104.0	7,217	46.6
その他の事業	18	0.1	100.0	18	0.1	100.0	18	0.1
セグメント間の 内部売上高	▲12	-	-	▲11	-	-	▲28	-

- ・ コロナ禍が続く中で、消費動向にも変化が生じている。
- ・ 取引先企業の取り組みもコロナ禍の情勢を見ながらの試行錯誤の対応が続いている。
- ・ 大口取引先の停滞、大口案件の受注の先送りも生じている。

セグメント別 対前期 四半期推移(会計期間推移含む)

◎ 2022年3月期

	1Q		2Q		3Q	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	4,623	100.0	9,214	100.0	14,329	100.0
営業促進支援事業	2,061	44.5	4,178	47.8	6,822	47.6
商品販売事業	2,562	55.4	5,032	52.0	7,507	52.4
その他の事業	6	0.1	12	0.2	18	0.1
セグメント利益	302	6.5	555	6.0	827	5.8
営業促進支援事業	127	6.2	296	7.1	501	7.3
商品販売事業	171	6.7	251	5.0	314	4.2
その他の事業	4	66.7	8	66.7	12	66.7

◎ 2021年3月期(収益認識基準に沿った数値に入れ替えた場合)

	1Q		2Q		3Q	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	4,645	100.0	9,678	100.0	14,697	100.0
営業促進支援事業	2,380	51.2	4,918	50.8	7,480	50.9
商品販売事業	2,266	48.8	4,760	49.2	7,217	49.1
その他の事業	6	0.1	12	0.1	18	0.1
セグメント利益	402	8.7	885	9.1	1,448	9.9
営業促進支援事業	233	9.8	522	10.6	820	11.0
商品販売事業	166	7.3	355	7.5	616	8.5
その他の事業	4	66.7	8	66.7	12	66.7



	1Q会計期間		2Q会計期間		3Q会計期間	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	4,623	100.0	4,591	100.0	5,115	100.0
営業促進支援事業	2,061	44.6	2,117	46.1	2,644	51.7
商品販売事業	2,562	55.4	2,470	53.8	2,475	48.4
その他の事業	6	0.1	6	0.1	6	0.1
セグメント利益	302	6.5	253	5.5	272	5.3
営業促進支援事業	127	6.2	169	8.0	205	7.8
商品販売事業	171	6.7	80	3.2	63	2.5
その他の事業	4	66.7	4	66.7	4	66.7

	1Q会計期間		2Q会計期間		3Q会計期間	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	4,645	100.0	5,033	100.0	5,019	100.0
営業促進支援事業	2,380	51.2	2,538	50.4	2,562	51.0
商品販売事業	2,266	48.8	2,494	49.6	2,457	49.0
その他の事業	6	0.1	6	0.1	6	0.1
セグメント利益	402	8.7	483	9.6	563	11.2
営業促進支援事業	233	9.8	289	11.4	298	11.6
商品販売事業	166	7.3	189	7.6	261	10.6
その他の事業	4	66.7	4	66.7	4	66.7

(会計期間)

営業促進支援事業 2022年3月期 第3四半期の業績

	2022年3月期 第3四半期実績						2021年3月期 第3四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	不適用の場合 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	6,822	100.0	82.4	7,561	100.0	91.3	8,279	100.0
販売促進	3,569	52.33	83.8	3,597	47.5	84.5	4,258	51.4
O E M	1,660	24.34	99.4	1,662	22.0	99.5	1,671	20.2
発送代行	1,591	23.33	67.7	2,312	30.6	98.4	2,349	28.4
売上総利益	1,444	21.2	90.1	1,444	19.1	90.1	1,603	19.4
セグメント利益	441	6.5	53.8	501	6.6	61.2	820	9.9

- ・ 販売促進は、感染拡大が続く中、社会経済活動の停滞を背景とした厳しい状況下にあった。
- ・ O E Mは、ファインケメティックス社の子会社化により新商品大口受注の延期分を埋め合せている。
- ・ 発送代行は、収益認識基準の適用もあり売上は減少した。

※百万円未満切り捨て

営業促進支援事業 対前期 四半期推移(会計期間推移含む)

◎ 2022年3月期

	1Q		2Q		3Q	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	2,061	100.0	4,178	100.0	6,822	100.0
販売促進	1,213	58.9	2,408	57.6	3,569	52.3
O E M	303	14.7	739	17.7	1,660	24.3
発送代行	544	26.4	1,029	24.7	1,591	23.3
売上原価	1,626	78.9	3,288	78.7	5,378	78.8
売上総利益	435	21.2	890	21.3	1,444	21.2
販管費	308	14.9	594	14.2	943	13.8
セグメント利益	127	6.2	296	7.1	501	7.4

◎ 2021年3月期(収益認識基準に沿った数値に入れ替えた場合)

	1Q		2Q		3Q	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	2,380	100.0	4,918	100.0	7,480	100.0
販売促進	1,420	59.7	2,786	56.7	4,236	56.6
O E M	470.187	19.8	1,102	22.4	1,669	22.3
発送代行	489.812	20.6	1,029	20.9	1,575	21.1
売上原価	1,897	79.7	3,880	78.9	5,876	78.6
売上総利益	483.147	20.3	1,037	21.1	1,604	21.4
販管費	250.554	10.5	515	10.5	784	10.5
セグメント利益	232.593	9.8	522	10.6	820	11.0



	1Q会計期間		2Q会計期間		3Q会計期間	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	2,061	100.0	2,117	100.0	2,644	100.0
販売促進	1,213	58.9	1,195	56.4	1,161	43.9
O E M	303	14.7	436	20.6	921	34.8
発送代行	544	26.4	485	22.9	562	21.3
売上原価	1,626	78.9	1,662	78.5	2,090	79.0
売上総利益	435	21.1	455	21.5	554	21.0
販管費	308	14.9	286	13.5	349	13.2
セグメント利益	127	6.2	169	8.0	205	7.8

	1Q会計期間		2Q会計期間		3Q会計期間	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	2,380	100.0	2,538	100.0	2,562	100.0
販売促進	1,420	59.7	1,366	53.8	1,450	56.6
O E M	470.187	19.8	632	24.9	567	22.1
発送代行	489.812	20.6	539	21.2	546	21.3
売上原価	1,897	79.7	1,983	78.1	1,996	77.9
売上総利益	483	20.3	554	21.8	567	22.1
販管費	251	10.5	264	10.4	269	10.5
セグメント利益	233	9.8	289	11.4	298	11.6

(会計期間)

商品販売事業 2022年3月期 第3四半期の業績

	2022年3月期 第3四半期実績			2021年3月期 第3四半期実績	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	7,505	100.0	104.0	7,217	100.0
100円ショップ向け売上	5,676	75.6	103.5	5,484	76.0
量販店向け売上	1,068	14.3	103.1	1,038	14.4
その他売上	759	10.1	109.5	694	9.6
売上総利益	1,582	21.1	87.6	1,808	25.1
セグメント利益	311	4.2	51.0	616	8.5

- ・ 100円ショップ向け、量販店向け、その他売上とも、前年同期に比べ伸びている。
- ・ 世界的な原材料価格の高騰や円安傾向によって、セグメント利益は利益率、利益額とも大幅に悪化している。

商品販売事業 対前期 四半期推移(会計期間推移含む)

◎ 2022年3月期

	1Q		2Q		3Q	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	2,562	100.0	5,032	100.0	7,507	100.0
100円ショップ向け売上	1,919	74.9	3,774	75.0	5,676	75.6
量販店向け売上	390	15.3	737	14.6	1,070	14.3
その他売上	251	9.8	520	10.4	759	10.1
売上原価	1,963	76.6	3,933	78.2	5,923	78.9
売上総利益	599	23.4	1,099	21.8	1,584	21.1
販管費	428	16.7	848	16.9	1,270	16.9
セグメント利益	171	6.7	251	5.0	314	4.2

◎ 2021年3月期

	1Q		2Q		3Q	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	2,266	100.0	4,760	100.0	7,217	100.0
100円ショップ向け売上	1,758	77.6	3,673	77.2	5,485	76.0
量販店向け売上	249.783	11.0	493	10.4	1,038	14.4
その他売上	257.422	11.4	594	12.5	694	9.6
売上原価	1,723	76.1	3,623	76.1	5,409	74.9
売上総利益	542.442	23.9	1,136	23.9	1,808	25.1
販管費	376.635	15.8	780	15.9	1,192	15.9
セグメント利益	165.806	7.3	355	7.5	616	8.5

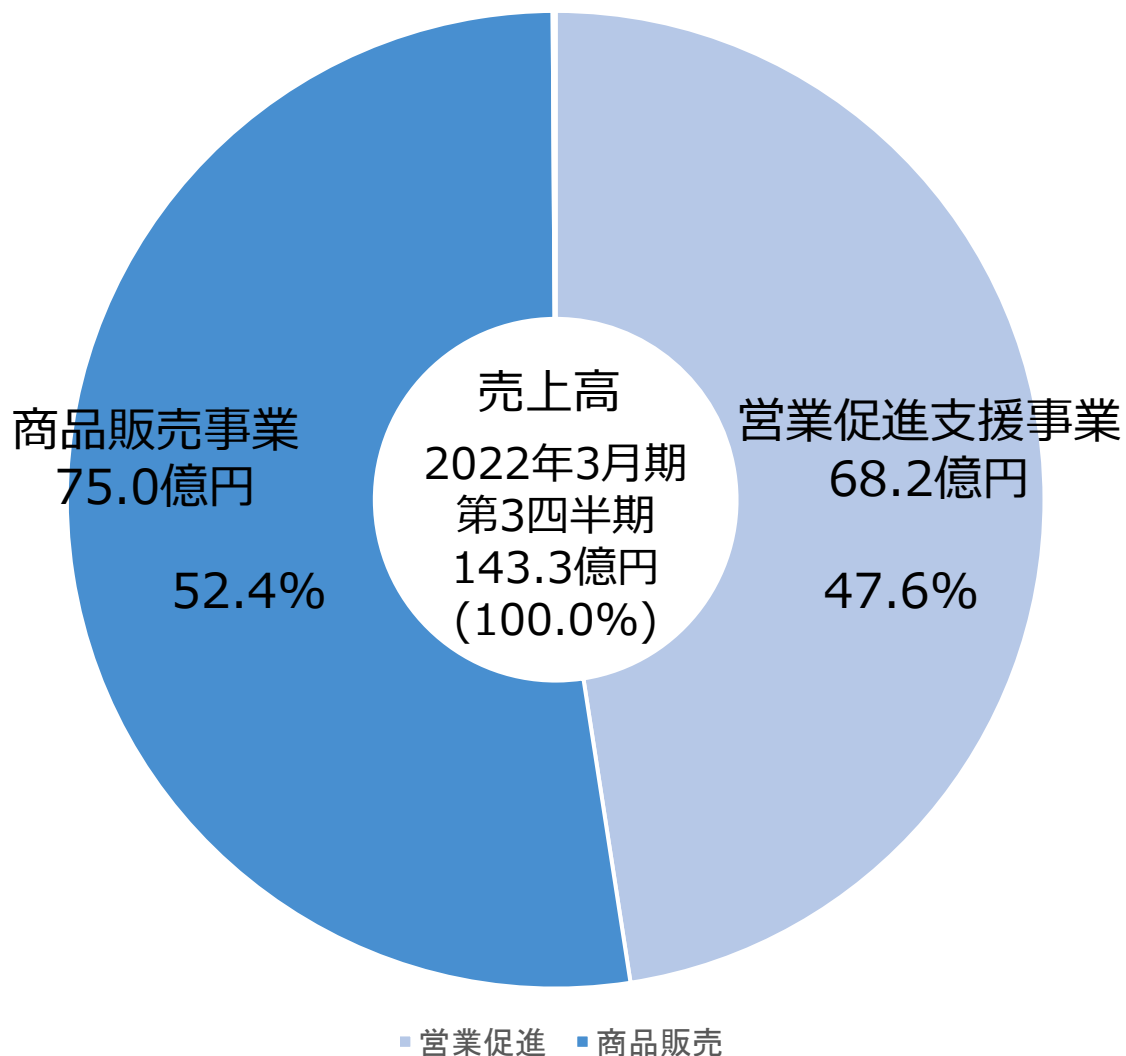


	1Q会計期間		2Q会計期間		3Q会計期間	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	2,562	100.0	2,470	100.0	2,475	100.0
100円ショップ向け売上	1,919	74.9	1,855	75.1	1,902	76.8
量販店向け売上	390	15.2	347	14.0	333	13.5
その他売上	251	9.8	269	10.9	239	9.7
売上原価	1,963	76.6	1,970	79.8	1,990	80.4
売上総利益	599	23.4	500	20.2	485	19.6
販管費	428	16.7	420	17.0	422	17.1
セグメント利益	171	6.7	80	3.2	63	2.5

	1Q会計期間		2Q会計期間		3Q会計期間	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
売上高	2,266	100.0	2,494	100.0	2,457	100.0
100円ショップ向け売上	1,758	77.6	1,915	76.8	1,812	73.7
量販店向け売上	249.783	11.0	243	9.8	545	22.2
その他売上	257.422	11.4	337	13.5	100	4.1
売上原価	1,723	76.1	1,900	76.2	1,786	72.7
売上総利益	542.442	23.9	593.558	23.8	672	27.4
販管費	376.635	16.6	403.365	16.2	412	16.8
セグメント利益	165.806	7.3	189.194	7.6	261	10.6

(会計期間)

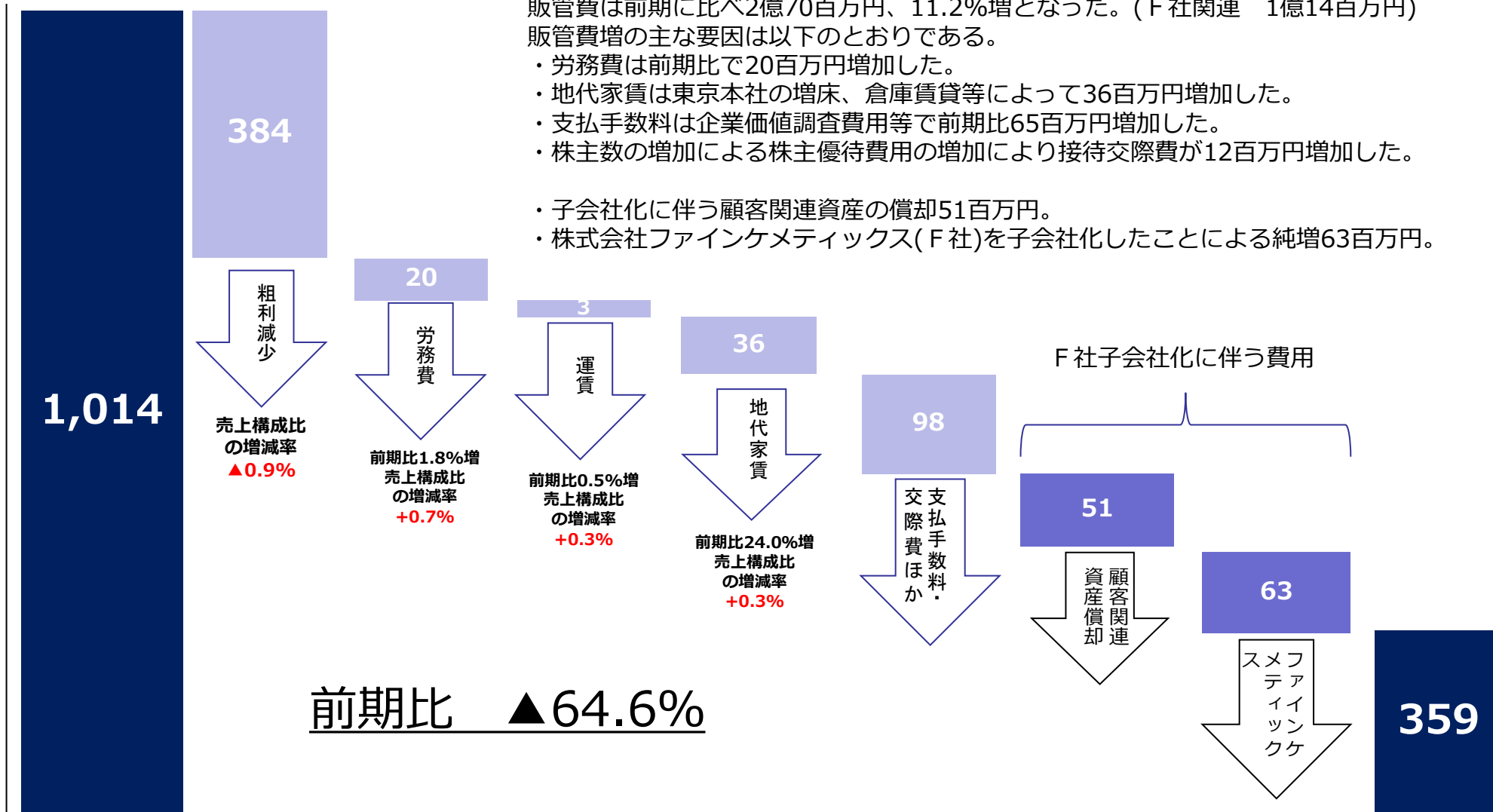
(ご参考) 売上構成比 2022年3月期 第3四半期



	実績(百万円)	売上構成比
売上高	14,333	100.0
営業促進支援事業	6,822	47.6
販売促進	3,569	24.9
OEM	1,660	11.6
発送代行	1,591	11.1
商品販売事業	7,505	52.4
100円ショップ向け売上	5,676	39.6
量販店向け売上	1,068	7.5
その他売上	759	5.3
その他の事業	18	0.1

営業利益増減の要因

(百万円)



売上総利益は11.2%の減少。

販管費は前期に比べ2億70百万円、11.2%増となった。(F社関連 1億14百万円)

販管費増の主な要因は以下のとおりである。

- ・ 労務費は前期比で20百万円増加した。
- ・ 地代家賃は東京本社の増床、倉庫賃貸等によって36百万円増加した。
- ・ 支払手数料は企業価値調査費用等で前期比65百万円増加した。
- ・ 株主数の増加による株主優待費用の増加により接待交際費が12百万円増加した。
- ・ 子会社化に伴う顧客関連資産の償却51百万円。
- ・ 株式会社ファインケメティックス(F社)を子会社化したことによる純増63百万円。

2021年3月期3Q

2022年3月期3Q

財政状態(貸借対照表主要科目) (連結)

	2021年3月期末		2022年3月期 第3四半期末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
(流動資産)	7,402	72.0	8,097	61.6	694	109.4
現金及び預金	943	9.2	1,059	8.0	115	112.3
受取手形及び売掛金	2,847	27.7	3,289	25.0	442	115.6
たな卸資産	2,592	25.2	2,838	21.6	245	109.5
その他流動資産	1,020	9.9	910	6.3	△109	89.3
(固定資産)	2,885	28.0	5,044	38.4	2,159	174.9
(繰延資産)	-	-	-	-	-	-
資産合計	10,287	100.0	13,142	100.0	2,854	127.8
(流動負債)	5,030	48.9	6,431	48.9	1,401	127.9
(固定負債)	524	5.1	1,333	10.2	809	254.4
負債合計	5,554	54.0	7,765	59.1	2,210	139.8
純資産合計	4,733	46.0	5,377	40.9	643	113.6
負債純資産合計	10,287	100.0	13,142	100.0	2,854	127.8

※百万円未満切り捨て

2022年3月期連結業績予想の修正



2022年3月期連結業績予想の修正 (連結)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,086	百万円 1,000	百万円 912	百万円 604	円 銭 78.25
今回修正予想 (B)	19,074	279	276	150	19.52
増減額 (B - A)	▲1,011	▲721	▲635	▲453	-
増減率 (%)	▲5.0	▲72.1	▲69.6	▲75.1	-
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	20,507	1,215	1,071	675	100.55

当社グループは、高収益で成長性のある会社になるために事業領域の拡大、転換を進めてまいりました。2022年3月期業績予想を策定するにおいても新型コロナウイルス感染症及び原油価格変動による原材料価格並びに為替変動による円安等の影響は十分に考慮し、発表させていただいております(前回の通期連結業績予想の公表日 2021年7月21日)。また2022年3月期第2四半期の発表時点においても東京2020オリンピック・パラリンピック大会終了時から企業からの販売推進の受注もコロナ禍収束に向けて回復の兆候があると対応してまいりましたものの、今回のオミクロン株をはじめ新型コロナウイルス感染症拡大の影響は想定を大きく上回る状況にあり、消費者の購買動向に変化を生じさせしめ、それに対する取引先企業の取り組みもコロナ禍の情勢を見ながらの試行錯誤の対応が続き、大口取引先の停滞、大口案件の受注の先送りが依然続いている状況であります。営業促進支援事業においては、新規開拓活動もままならず、口座開設したお客様も大口取引先同様に様子見が続いている状況であります。また原油価格の動向並びに為替の動向も、ウクライナをめぐる情勢、中東情勢、経済安全保障、米国の金融引締め等によって今後とも予断を許さない状況が継続すると予想しております。以上のようなことから、2022年3月期業績予想は、売上高におきましては、営業促進支援事業、商品販売事業ともに前回の業績予想を下回る見通しであり、その影響額は約10億円の減収を想定しております。利益におきましても、売上高未達による利益額の2億円の減少、それに加えて売上原価におきまして原材料費の高騰による2億22百万円の増加、円安による仕入れ価格60百万円の増加を想定しております。また第4四半期に発生するであろうという費用として、低稼働在庫の処理47百万円、顧客関連資産の償却52百万円、のれん代8百万円、固定資産除却損26百万円、支払手数料76百万円を計上することを想定しており、それによって営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回の業績予想を下回る見通しであります。

2022年3月期 業績予想の修正 (連結)

	2022年3月期業績修正			2021年3月期実績		増減		2022年3月期 当初予想	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	19,074	100.0	93.0	20,507	100.0	▲ 1,433	▲ 7.0	20,086	100.0
売上原価	15,106	79.2	94.2	16,044	78.2	▲ 938	▲ 5.8	15,636	77.9
売上総利益	3,967	20.8	88.9	4,463	21.8	▲ 496	▲ 11.1	4,449	22.2
販売管理費	3,688	19.3	113.6	3,247	15.8	441	13.6	3,448	17.2
営業利益	279	1.5	23.0	1,215	5.9	▲ 936	▲ 77.0	1,000	5.0
経常利益	276	1.5	25.8	1,071	5.2	▲ 795	▲ 74.2	912	4.5
親会社株主に帰属 する当期純利益	150	0.8	22.3	675	3.3	▲ 525	▲ 77.7	604	3.0
1株当たり 当期純利益(円)	28.25	-	-	100.55	-	-	-	78.25	-

セグメント別 2022年3月期業績予想

	2022年3月期業績予想			2021年3月期実績		増減		2022年3月期 当初予想	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	19,074	100.0	93.0	20,507	100.0	▲ 1,433	▲ 7.0	20,086	100.0
営業促進支援事業	9,278	48.6	87.1	10,650	51.9	▲ 1,372	▲ 12.9	9,607	47.8
商品販売事業	9,772	51.2	99.0	9,867	48.1	▲ 95	▲ 1.0	10,454	52.1
その他の事業	24	0.1	100.0	24	0.1	0	-	24	0.1
セグメント間の内部売上高	▲ 0	▲0.0	-	▲ 34	▲0.1	-	-	▲ 0	▲0.0

(ご参考) 四半期の業績推移(22年3月期 3Qは実績、4Qは予想。)

	2021年3月期 1Q		2021年3月期 2Q		2021年3月期 3Q		2021年3月期 4Q		2022年3月期 1Q(実)		2022年3月期 2Q(実)		2022年3月期 3Q(実)		2022年3月期 4Q(予)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
売上高	4,903	100.0	10,183	100.0	15,486	100.0	20,507	100.0	4,623	100.0	9,214	100.0	14,333	100.0	19,074	100.0
売上原価	3,874	79.0	8,001	78.6	12,062	77.9	16,044	78.2	3,583	77.5	7,216	78.3	11,293	78.8	15,106	79.2
売上総利益	1,029	21.0	2,182	21.4	3,425	22.1	4,463	21.8	1,040	22.5	1,998	21.7	3,040	21.2	3,967	20.8
販売管理費	769	15.7	1,561	15.3	2,411	15.6	3,247	15.8	910	19.7	1,724	18.7	2,681	18.7	3,688	19.3
営業利益	260	5.3	621	6.1	1,014	6.5	1,215	5.9	130	2.8	274	3.0	359	2.5	279	1.5
経常利益	267	5.5	605	5.9	989	6.4	1,071	5.2	45	1.0	231	2.5	343	2.4	276	1.5
親会社株主に帰属する当期純利益	179	3.7	414	4.1	666	4.3	675	3.3	24	0.5	160	1.7	218	1.5	150	0.8

今後の取り組み



当社を取り巻く環境

環境汚染・気候変動・省資源

資源問題・汚染問題
地球温暖化
大気汚染
健康問題
生態系問題
森林問題
自然災害
パンデミック



温室効果ガスの排出(CO2削減)

海洋廃棄プラスチック

環境省

1. ワンウェイプラスチックの使用削減
・2020年7月よりレジ袋の有料化
⇒ 脱プラのスタート
2. バイオプラスチックの使用

当社の対応

エコ商品開発

防災商品開発

ECOS

(エコス)はショーエイコー
ポレーションの環境負荷低
減商材の総称。商標登録。



「防災製品等推奨品マーク」

千載一遇のチャンス

プラスチック以外の包装資材への参入

顧客チャネルを問屋から直需に変更

メーカーへの転身

- ・立地を変える機会と捉える
- ・チャンスを活かせる場が到来した
- ・当社がフロントランナーになれる機会である(de facto standard)
- ・新経営ビジョンを設定

- ・紙、木、布等による包装資材の提供
- ・バイオマス、エコ素材の活用
- ・パッケージ市場の縮小
- ・軽薄短小化
- ・問屋、代理店等の仲介業の存在価値の見直し
- ・顧客チャネルが直ユーザーになる
- ・美と健康、安全、安心な快適生活のサポート
- ・100円ショップ、量販等の大きな販売市場を持っている

プロモーション・マーケティングの拡大・・・コンサルタント営業への転換と推進

新規事業、M&A等・・・新たな環境関連事業分野に経営資源を配分し成長力を確保

資本コストを意識した経営の実践・・・ROEやROIC等により経営の収益性や効率性を判断

株主資本還元政策・・・業績拡大に応じた配当による利益還元を実現

CGコードへの対応・・・プライム市場に要求される水準の充足

ESG、SDGs関連施策・・・具体的な目標の設定および開示

株主、投資家との対話の充実・・・決算説明会、アナリストレポート、ESG関連資料

Twitterの活用・・・情報発信の機会の拡大

資本政策とインセンティブ・・・自社株の活用、経営陣持株比率の増強、経営幹部が中期経営計画をやり抜く意欲を投資家に届ける

事業戦略

財務・資本戦略

コーポレート
ガバナンス戦略

IR・PR
戦略

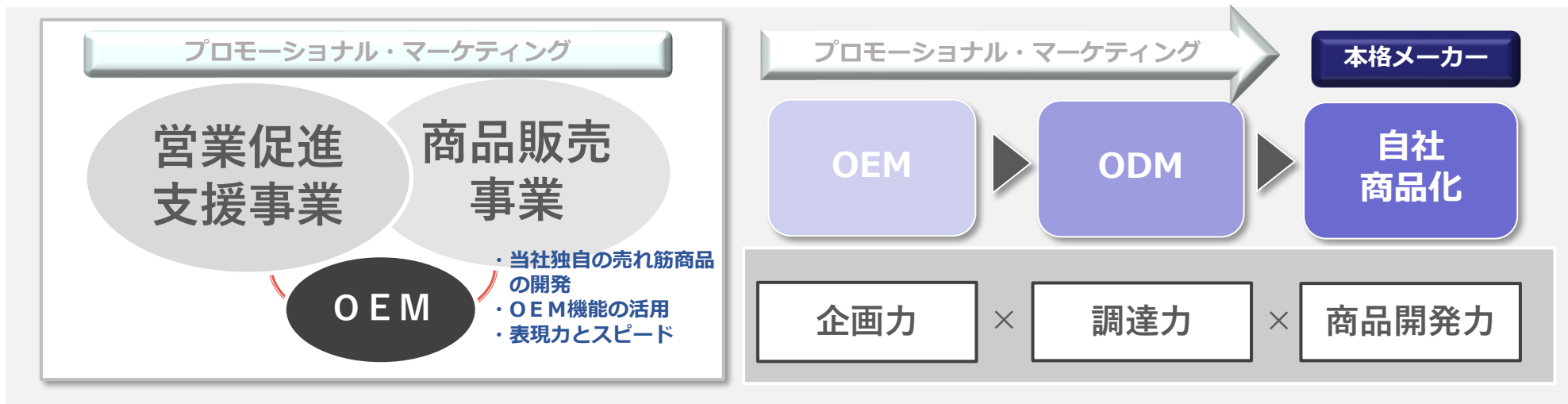
プロモーション・マーケティングの拡大・・・「メーカー機能を持った企画制作会社」に転化
「コンサルタント営業」への転換と推進
新規事業、M&A等・・・新たな環境関連事業分野に経営資源を配分し成長力を確保

経営理念 **社会の進歩発展に貢献する**



経営ビジョン

「おどろき！の快適」を追究し包想する、
感動創出メーカーになる



販売支援活動を中核とした事業展開

- 当社の立ち位置のレイヤーを上げる(メーカー機能を持った企画制作会社に転身する)
- 首都圏3倍化計画の実現(19/3期の首都圏売上を3倍にする)
- 首都圏営業部門の人員拡充
- インサイドセールスの組織作り
- 販売促進予算の根こそぎ奪取化
- 将来の自社ブランド化を見据えた、化粧品等O E Mの完全構築
- 量販店開拓と得意販売品目の構築
- I Tとダイレクトチャネルの構築
- W E B広告や顧客分析などのマーケティングの構築
- 研究開発組織の整備と拡充(自社商品開発の基盤作り)
- 生産拠点の整備及び設備投資
- 外部ブレインの活用
- M & Aの推進



年間売上増強
97億円

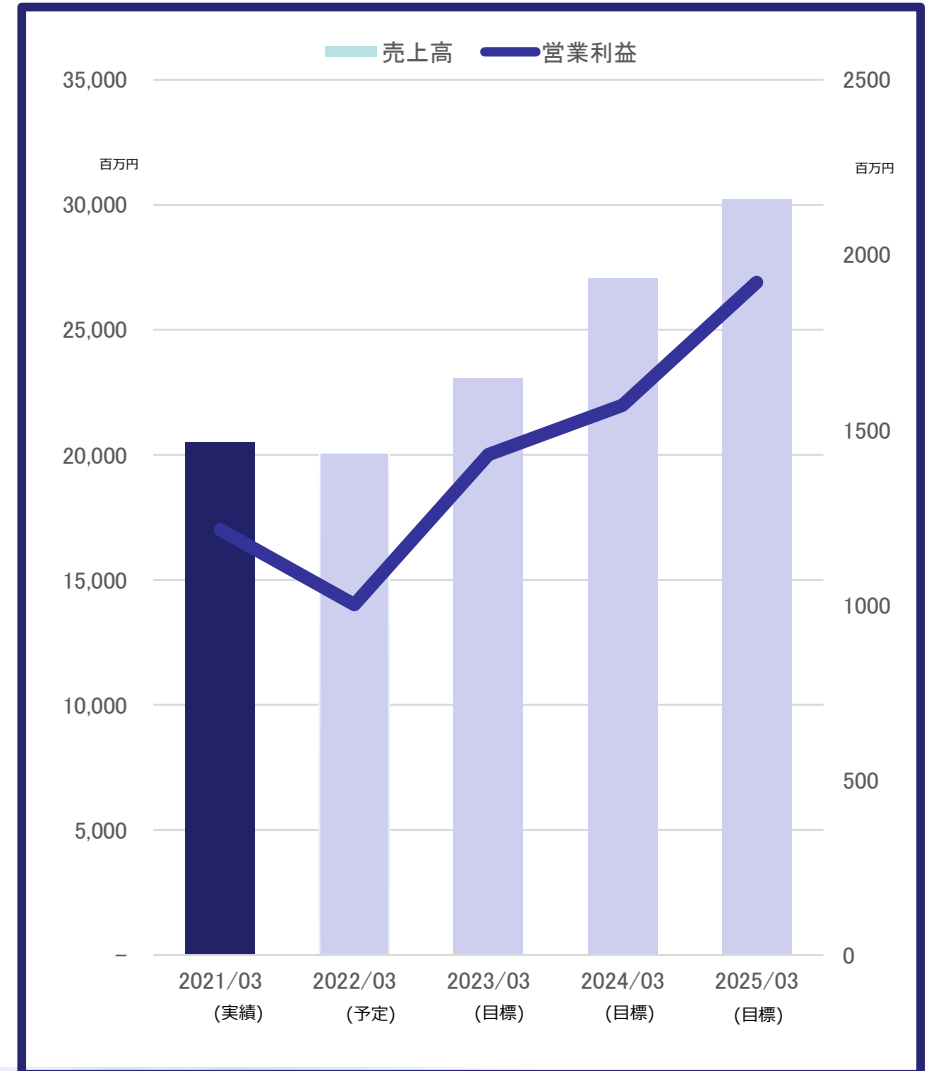


- 地方ドラッグストア・ホームセンターの開拓
 - 大手量販店の開拓
 - 高額商品の開発と開拓・在庫、運賃等の経費改善
 - プロモーション・マーケティングの確立
 - 首都圏での営業担当の拡充
 - インサイドセールスの組織作り…営業企画
 - 直ユーザー開拓…収益の柱
 - 休眠顧客の再開拓
-
- ファインケメティックス社 24億円
 - ジェイ・エスコムとの業務提携
 - 新規M&A案件(M&A会社からも持ち込みが増えております)
 - ・化粧品企画会社・包装材メーカー
 - ・販促企画・Web企画 他

2025年3月期 経営目標

連結売上高	302億円
連結営業利益	19.8億円
時価総額	200億円以上
流通時価総額	140億円以上
ROE	16.67%

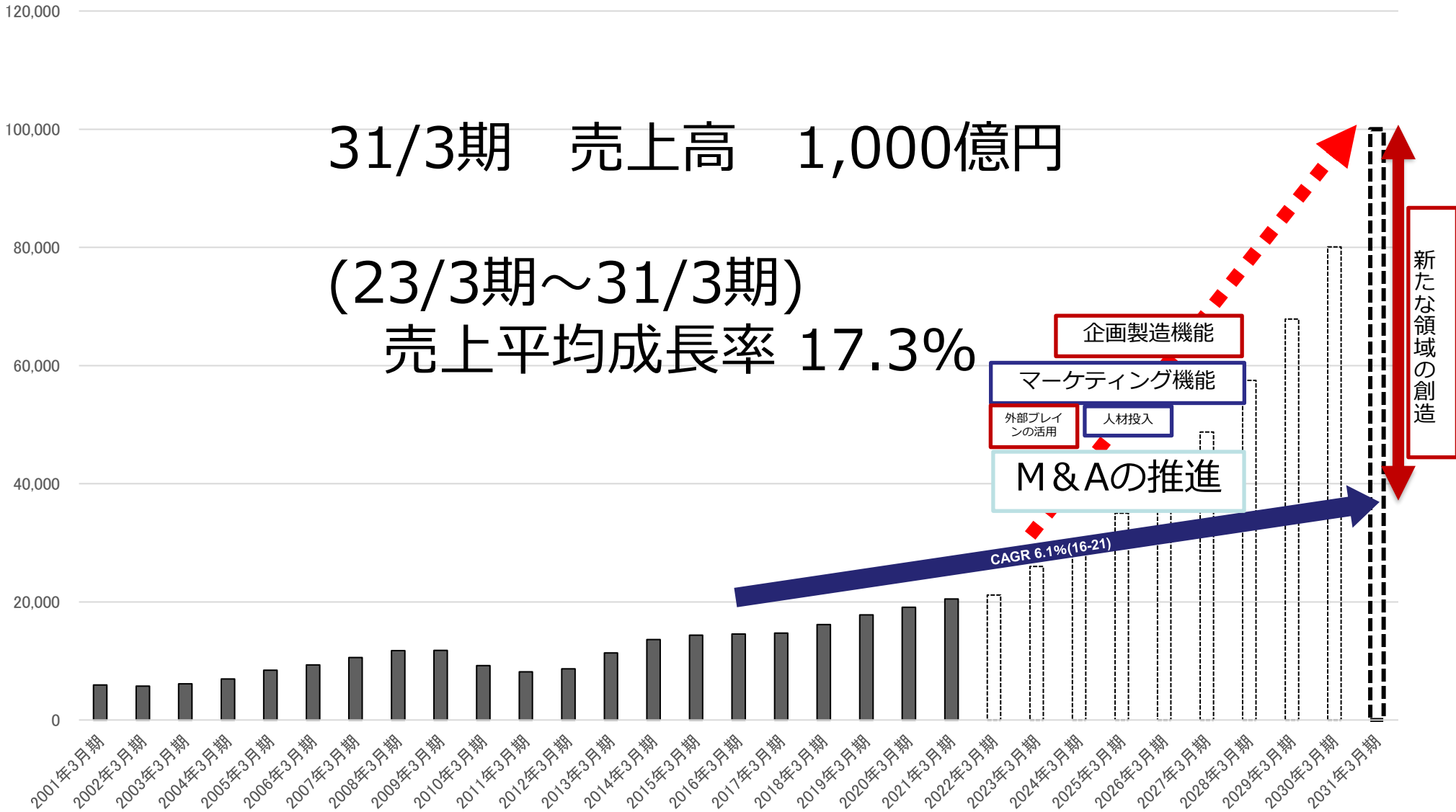
連結売上高・連結営業利益推移



超長期ビジョン

31/3期 売上高 1,000億円

(23/3期~31/3期)
売上平均成長率 17.3%



<ご案内>

- ・本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での当社の判断であります。市場環境等の様々な要因により、実際の業績はこれら見解、見通し、ならびに予測等と大きく異なる結果となり得ることをご了承下さい。
- ・当社では、株価に影響を及ぼす情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、決算期日の2週間前から決算発表日までの一定期間を沈黙期間としています。この期間は決算に関するコメントや質問に対する回答は控えさせていただきますのでご了承下さい。ただし、同期間中に業績予想が大きく変動する見込みが生じた場合には、適宜、情報開示を行います。

株式会社 ショーエイコーポレーション

お問合せ先：IR広報室

T E L : 06-6233-2636 F A X : 06-6233-2615

ホームページURL : <http://www.shoei-corp.co.jp/>